

読書の家から



新刊案内

■みずうみ読書の家

▲一般▽キラキラ共和国(小川 糸)▽銀杏手ならい(西条奈加)▽道標(今野敏)▽ノーマンズランド(菅田哲也)▽銀河鉄道の父(門井慶喜)▽おもかげ(浅田次郎)▽駐在日記(小路幸也)▽インフルエンス(近藤史恵)▽たゆたえども沈まず(原田マハ)▽ミ・ト・ン(小川 糸)▽Dの遺言(柴田哲孝)▽ヴェネツィア便り(北村 薫)▽迷い家(山吹静粋)

▲**児童書**▽クリスマスを探偵と(伊坂幸太郎)▽ノラネコぐんだんパンこうじょう(工藤ノリコ)▽幻の動物とその生息地(J・K・ローリング)▽どこかなあるかなさがしてね くまぐんのかぐりスマ(ゲルゲイ・ドゥーダース)▽クマと森のピアノ(デイビッド・リッチフィールド)▽サラとピンクパーリへ行く(富安陽子)▽だんぼーるおうじ(長野ヒデ子)▽アニーのちいさなきしゃ(たちもとみちこ)▽まだかなまだかな(伊藤正道)▽時知らずの庭(小森香折)

■**洞爺総合センター図書室**
 ▲一般▽ギャングブル依存と戦う(帯木蓬生)▽受命(帯木蓬生)▽チョコレート革命(俵 万智)▽イニシエーションラブ(乾くるみ)▽長い夜(赤川次郎)▽か「く」「し」「ご」「こ」と「住野よる」▽ミレニアム4(上・下)▽(ダヴィド・ラーゲルクラントツ)

今月の1冊



きつねのでんわボックス

作 戸田和代
挿絵 たかすかずえ

町はずれのでんわボックスに明かりがともるころ、病気のお母さんに電話をかけたにやってくる男の子と、それをそっと見まもる子どもをなくしたかあさんぎつねのお話。わが子を思う母親の心情をつぶさに描いています。



■日時 3月6日(火) 14時30分
 ■場所 あぶた読書の家

ピノキオ読み聞かせの会

(毎週木曜日・祝祭日休館)

8日

2月15日・22日・3月1日

●2月休館日

10時～15時

■みずうみ(☎75-4702)

10時～16時20分

■あぶた(☎76-2100)

●開館時間

ニヤ)

ワンポイント手話 ～時の表現～

NO. 8

1カ月



左の人差し指を出し、右手の5指を上げ握る。

1年間

(1年)



(間)



左で握ったこぶしを中心に右手人差し指を1回転させる。左右指の開いた両手を下へ同時におろす。

俳句

わたしのうた

【あぶた俳句会】一月定例会

はらからの末広がりや初笑ひ
 去年今年何も変わらず同じ座に
 まゆ玉や患者の眼ひとところ
 峠越えあれが洞爺湖冬景色
 茶柱に笑まふ亡き母冬日向

矢野知子
 千葉征子
 菅原敏子
 小笠原勇
 佐藤美風

